

仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 (令和9-11年度計画) 骨子案

資料2

基本理念

上位計画である「仙台市基本計画」に掲げる目指す都市の姿を踏まえ、高齢者を含めた地域全体の支え合いのもと、生涯にわたり一人ひとりが持つ多様性を尊重し、社会が大きく変容する中であっても、住み慣れた地域で持続的に生活できる社会の実現を目指し、次の基本理念を掲げます。

基本理念

共に支え合い、生涯自分らしく暮らし続けられる社会の実現

基本目標

上記基本理念のもと、上位計画「仙台市基本計画」や「せんだい支えあいのまち推進プラン」(仙台市地域保健計画)をはじめとした本市の関連計画、高齢者保健福祉施策を推進していく上での課題を踏まえ、次の基本目標を掲げます。

基本目標

高齢者が、主体的に健康づくりに取り組みながら自分らしく活躍することができるとともに、地域で共に支え合い、心身の状態に関わらず生きがいを持ち、安心して暮らし続けられる社会を実現します

施策の体系

【方針Ⅰ】社会環境が変化するなかでも、高齢者が健康づくりに主体的に取り組み、いきいきと自分らしく、活躍できる環境づくりを進めます

(施策1) 介護・フレイル予防活動の更なる活性化と地域における持続可能なフレイル予防の仕組みの確立

いつまでも心身ともに健康な生活を送れるよう、気軽に介護・フレイル予防へ取り組むことができる活動への支援や、健康づくりを疾病予防と介護・フレイル予防の観点から関係機関が連携して一体的に推進します。

(施策2) 高齢者の活躍を後押しし、地域社会に貢献できる環境づくりの推進

社会で役割や居場所を持ち、継続的に活躍できるよう、多彩な学びの機会の提供のほか、就労、地域活動等への参加を促進するための支援及び環境整備を推進し、社会参加意識の醸成にも取り組みます。

(施策3) 社会環境の変化を踏まえた支援と持続可能な取り組みの推進

少子高齢化の進展、社会的環境の変化により、支援ニーズが多様化・複雑化している中であっても、安心して暮らし続けることができるよう、社会の変化に対応した取り組みの推進や、既存事業のあり方についても検討を進めます。

【方針Ⅱ】地域における支え合いのもと、高齢者一人ひとりが自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの持続性の確保と深化に取り組みます

(施策4) 一人ひとりの状況に応じ、地域で安心して暮らし続けられるための支援の充実

日常生活上の支援が必要になっても安心して暮らし続けることができるよう、地域と協働して、ニーズに応じた生活支援サービスの提供や、適切な住まいと住まい方を選択できるよう、居住環境の整備などに取り組みます。

(施策5) 地域の多様な主体の連携強化による切れ目のない支援体制づくりの推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括支援センターによる支援の充実と、医療や介護などをはじめとするさまざまな専門職や関係機関等の連携強化を図るとともに、地域住民や活動団体による見守り・支え合い活動の充実に向けた支援を進め、支援が必要な高齢者を重層的に支える取り組みを推進します。

(施策6) 新しい認知症観に基づく共生社会づくりの推進(認知症施策推進計画)

市民一人ひとりが認知症への理解を深め、新しい認知症観を広げるとともに、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活環境の障壁の軽減に向けた取り組みを推進するとともに、多職種連携による認知症への対応力強化を図り、認知症の人や家族の視点を重視しながら、地域で相互に支え合う共生社会の実現を目指します。

【方針Ⅲ】将来にわたって必要な方が適切に介護サービスを受けられるよう、持続可能なサービス提供体制の構築を進めます

(施策7) 中長期的な視点を重視した介護サービス基盤の整備や事業運営を支える取り組みの推進

介護サービスの需要を中長期的に踏まえたうえで、高齢者が適切な介護サービスを受けることができるよう、サービス基盤の整備を進めます。

(施策8) 深刻化する介護の担い手不足に対応する人材確保、定着支援と業務負担の軽減に向けた取り組みの推進

喫緊の課題となっている人材不足に対応し、働きやすい環境づくりや介護職の魅力発信、外国人介護人材をはじめとした多様な人材の活用、介護人材の定着支援、介護現場の負担軽減を支援する取り組みを推進します。

評価指標

下記の指標に基づき、進捗管理を行う

- 1 出現率
- 2 地域資源の登録数
- 3 (1)在宅サービスに対する満足度、(2)施設サービスに対する満足度、(3)ケアマネジャーや地域包括支援センターに対する満足度